

熊本県立大学ホームページリニューアル業務

仕様書

令和3年（2021年）5月

1. 業務概要

(1) 件名

熊本県立大学公式ホームページリニューアル業務

(2) 公開予定

公開予定 令和3年(2021年)12月20日の週とする

(3) 目的

熊本県立大学(以下「本学」とする)公式ホームページは、平成28年3月にリニューアルされたものであり、約5年を経過している。この間に、情報機器は目まぐるしい発展を遂げ、総務省が実施した調査によると、情報通信機器保有率とインターネット利用機器については、スマートフォンがPCを上回っている状況にある。

本学公式ホームページは、PCからの閲覧を主とされており、現在閲覧者の多数を占めるスマートフォン・タブレットで閲覧した場合には、最適化(レスポンシブデザイン)されていない現状がある。また国際教育交流センターの開設などにより、大学の国際化を進展していく中では、ホームページにおいて英語を含めた外国語での発信がさらに必要となっている。

これらのことから、本学の広報活動の拠点となる本学公式ホームページのリニューアルが急務となっていることから、今回の事業を実施するものである。

2. リニューアルの範囲/制作対象となるページ

【資料1】を参照すること。また制作するページ数は(1)～(3)まででおおむね230ページ程度とする(お知らせ欄の記事は除く)

(1) 本体

熊本県立大学 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>

(2) 主要組織ウェブサイト

文学部日本語日本文学科 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/~nichibun/>

環境共生学部 <http://puk-environment.jp/>

※本体と統一性をもたせたBデザインのホームページを構築

参照 帯広畜産大学トップ <https://www.obihiro.ac.jp/>

動物医療センター <https://www.obihiro.ac.jp/facility/hospital/>

(3) 外国語版ウェブサイト

英語 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/english/>

中国語 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/chinese/>

韓国語 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/korean/>

※中国語・韓国語のページについては現状のページ内容を移行する

(4) リニューアルの対象外

オープンキャンパス	https://puk-oc.jp/
図書館	https://www.lib.pu-kumamoto.ac.jp/drupal/
後援会	https://www.puk-kouenkai.jp/
文学部英語英米文学科	http://puk-english.jp/
総合管理学部	http://puk-soukan.com/
学生ポータル	https://puknet.sharepoint.com/sites/student_portal/
地域ラブラトリー	https://puk-lovatory.com/
夏目漱石離熊 120 周年サイト	https://soseki-kumamoto-anniversary.com/#mv
教職員サイト	http://puk-portal.pu-

[kumamoto.ac.jp/sites/portal/SitePages/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0.aspx](http://puk-portal.pu-kumamoto.ac.jp/sites/portal/SitePages/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0.aspx)

(5) 新サーバーに移行予定

紫苑会 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/about/university/shionkai.php>

今回のリニューアルの対象ではないが、紫苑会にてホームページの作成が予定されておりその状況により対応を予定

3. 制作内容

現行の本学ホームページから、以下の点に配慮し制作するものとする。

- ①利用者が求める情報を探しやすくし、魅力的かつわかりやすいデザインとする
またスマートフォンで見た時にレイアウトが崩れないデザインを採用する
- ②メインターゲットは受験生とし、あわせて研究者の情報を充実させて発信する
- ③本学の国際化をさらに推進するため、英語の情報提供については、拡充していく
- ④ページを削減し、更新にかかる業務量を低減する

(1) 表記言語

日本語版と外国語版を制作すること。外国語版は英語が基本であるが、一部韓国語中国語のページを制作する。なお、今回の業務の中に翻訳業務は含まない。

(2) デザイン

- ①スマートフォンやタブレット、パソコンの画面などの各デバイスに対応したレスポンシブなデザインとする
- ②操作がしやすいUI(ユーザーインターフェイス)デザインにする
- ③リンク先が内部リンクか外部リンク PDF ファイルであるかなどを明確にする。特に学内限定のウェブサイトにはリンクを貼る場合、リンク先に行く前に学内限定であることがわかる表示にする。
- ④ウェブアクセシビリティについては、色のコントラスト、文字のフォントやサイズ、画像キャプションなどに配慮すること

(3) お知らせ欄

- ①複数のタブを設定し、テーマ別に表示できるようにする
- ②R2 年度および R3 年度のページについては移行する（250 記事程度と想定）
それ以前の過去の記事については、過去の日付にて入力ができる要件とする
（大学側にて入力予定）
- ③緊急情報欄は掲載が必要な際にページに上部に表記する

(4) 研究者情報について

- ①新たに研究者情報（教員 90 人程度）のページを制作する
- ②国内の研究者の多くが登録している「research map」への連動を行う
（研究者情報から JSON 形式または CSV 形式で出力したファイルでのインポートを
想定。WEB API を用いた連携でも可）

※現在の大学の研究者情報

https://www.pu-kumamoto.ac.jp/site2010/php/researcher/researcher_info.php

※research map <https://researchmap.jp/>

※連携を希望しない研究者もいるため、「連携する／しない」を選択できるようにする。なお研究者情報に関するデータは、JSON 形式および CSV 形式での出力機能を必須とする。

(5) CMS の要件及び機能

現行のホームページでは CMS(コンテンツマネジメントシステム)を一部使用しているが、本件の制作業務では以下の点を要件として CMS を導入する。オープンソースの CMS をベースとし、必要に応じてプラグインモジュールの追加や、カスタマイズを行うことにより要件を満たすシステムとして WordPress を想定しているが、WordPress 以上の利点があれば他の CMS の提案を可とする。

- ①ウェブサイトの専門知識を持たない教職員でも容易に更新が行えるようにする。
これにより、運用方針及び管理と更新の体制を整備した上で、情報発信者を増やし、常に信頼性のある最新情報を迅速に掲載できるようにする。
- ②ウェブサイトにおいて本学の教職員が技術的に更新できなかった範囲を減らし、柔軟に更新できる範囲を拡大する。これにより、広報活動の迅速な展開に更新のタイミングを合わせられるようにする。
- ③本学の教職員が更新用に使用しているアプリケーション（ホームページ・ビルダーなど）を不要とする。これにより、更新作業や掲載内容の確認に使用するパソコンを特定する必要を無くし、柔軟かつ効率的な更新体制を図る（ただし、規定のセキュリティを徹底して、その範囲内に限定する）。
- ④サイト内のキーワード検索を実装する。
- ⑤アクセス解析できる機能を実装する。
- ⑥Google 検索エンジン最適化を図る。
- ⑦エラーページのカスタマイズを行い、利用者に関覧状況を的確に伝達して、代替

ページ等を用意する。

- ⑧下記対応ブラウザの最新版を用いて管理画面より管理及び更新を可能とする。
Edge / Chrome / Firefox / Safari
- ⑨テキスト、他ページやファイルへのリンク、画像等のコンテンツ要素は、WYSIWYG エディタによりコンテンツ表示エリア内でレイアウト可能とする。
- ⑩コンテンツに掲載する画像やリンクするファイル等の追加は、そのコンテンツの編集フォームから可能とする。
- ⑪メニュー構成の編集、投稿ページのカテゴリの追加、バナーの変更、ページの作成と編集、公開等について、権限の設定を可能にすること。管理者と更新者の権限については【資料2】を参照すること。
- ⑫投稿ページの自動的な時限的公開（指定時間に公開、または非公開状態になる設定）を可能とする。
- ⑬URL の一部となるページ名及びディレクトリ名として、URL として使用可能な任意の文字列を指定可能とする。
- ⑭ページごとにバージョン管理が可能で、誤ったコンテンツの上書きを行った際などに、任意の時点にロールバック可能とする。
- ⑮リンク切れの確認管理をするための機能(Broken Link Checker 等のプラグイン)を実装する。

(6) コンテンツ制作提案

今回のリニューアルにあたって、本学の特徴をアピールする企画を少なくとも1つ提案すること。ただし、企画を継続するにあたっては、本学広報担当者の負担が大きくなりすぎないようにすること。

(7) URL 表記について

URL については、現行の日本語ローマ字表記から、基本的に英単語表記とする。必要に応じてリダイレクトの設定を行うこと

(URL 例) 入試ページ (現行) <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/nyusi/>
(リニューアル後) <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/admissions/>

(8) 写真・動画・テキスト素材について

基本的には本学から提示する。なお学内の写真素材については、本学でも今後撮影を実施する予定である。

4. サーバー環境(HP 以外のサーバー移行も含む)

- (1) 国内にある外部ホスティングサーバーを使用し、200GB 程度の容量を最低限必要とする。またデータセンター及び管轄裁判所は国内にあること
- (2) PHP 等複数の言語及びデータベースによる動的コンテンツの公開に対応する。
- (3) 常時 SSL 認証を行うこと
- (4) 現在の Web サーバーにある公式ホームページ以外のデータも新サーバーに移行する。

5. セキュリティ（HP 入力ログインほか）

- (1) ウェブサイト全体の管理体制について、管理者権限と作成・更新権限を区別する。
- (2) お知らせ欄と研究者情報には全教員（90名程度）にもログインできるようにする。
- (3) 日次での改ざん監視、バックアップを実施する。
- (4) 管理画面へのアクセスについては、2要素または2段階認証を採用する。
- (5) 本学が関係するサーバーに対して、本学において脆弱性診断を行うことから、今回の外部のサーバーに対しても、脆弱性診断を行う場合がある。

6. 運用開始後の操作マニュアル作成

管理者用、作成更新者用の2種類を用意し、作成更新者用には本学にて年1回研修会実施 ※研修会については、動画による制作に代えることも可

7. 公開後の運用支援・保守およびサーバーレンタル料

ホームページの公開から令和4年（2022年）3月末までの運用支援、保守に関する費用およびサーバーレンタル料を含むこと。また令和4年（2022年）4月以降については、受託者との協議を別途行う予定。

8. その他

- (1) この業務で作成されたデザイン、写真、データに関する著作権および所有権は、原則として本学に帰属するものとする。
- (2) 受託業者は、受注決定後に速やかに本学担当者との打ち合わせを実施する。また月1回程度、進捗についての報告を行い、本学の各部局からの質問等にも対応すること
- (3) この仕様書に明示が無いものまたは業務に疑義が生じた場合は、委託者と受託者の双方の協議により業務を進めていくものとする。

【資料1】現状、リニューアル後も掲載を予定しているページ

<本体>

大項目	項目
大学基本情報	理念・目的、沿革、組織図ほか、大学歌、理事長ページ、学長ページ、歴代理事長学長紹介、特別栄誉教授、名誉フェロー、名誉教授、理事会、経営会議、教育研究会議、中期計画・中期目標、認証評価、自己点検・評価、財務諸表、学長選考会議、大学案内、広報誌春秋彩、大学概要、施設一覧、入札公告、熊本県立大学未来基金、基金実績報告、教職員募集、兼業について、新型コロナウイルス感染症について、規程集その他
教育	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、文学部、環境共生学部、総合管理学部、共通教育センター、もやいすとについて、キャリアデザイン、学生GP、オフィスアワー、大学院、文学研究科、環境共生学研究科、アドミニストレーション研究科、時間割、証明書申請、教員養成課程、単位互換、授業評価アンケート、教育に関する公開情報、高大連携、教員免許状更新講習
研究者情報	教員一覧、五十音順、文学部、環境共生学部、総合管理学部、共通教育センター
研究	動物実験委員会、生命倫理審査委員会、科学研究費、受託研究、不正防止
学生生活	入学金・授業料、奨学金・減免、障がい・疾病、保健センター、ハラスメント防止、サークル活動、ボランティア、学長への提言広場、アルバイト、年間スケジュール
国際交流	国際教育・交流ビジョン、国際教育交流センター、もやいすとグローバル、高度グローバル人材、海外留学支援、海外協定校・機関、留学体験談、Global Lounge、e-learning、留学生支援（ホスト）、TOEIC
地域連携	地域連携政策センター、CPDについて、認定看護管理者教育課程サードレベル、公開講座
入試	学部入試について、一般選抜、特別選抜、自己推薦型選抜、編入学試験、合格者受験番号、入試統計、資料請求、オープンキャンパス、進学相談会、学内見学・出張講義、大学院入試について、文学研究科、環境共生学研究科、アドミニストレーション研究科、長期履修制度について、昼夜開講制について、研究生・科目等履修生
キャリア就職	キャリアセンターについて、就職対策講座、コーディネーター、助成金、企業の方へ、インターンシップについて、就職状況（文学部）、就職状況（環境共生学部）、就職状況（総合管理学部）、就職状況（大学院）
その他	熊本県立大学アーカイブ、お問い合わせ、交通アクセス、サイトマップ、サイトポリシー、卒業生の方へ、在学生の方へ

<主要組織ウェブサイト>

組織	項目
文学部日本語 日本文学科	トップページ、教員紹介、受験生の皆さんへ、フィールドワーク、地域連携、文学史の回廊、学会・論文一覧、ほか
環境共生学部	トップページ、環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻、食育推進室、ほか

<外国語ウェブサイト>

言語	項目
英語	トップページ (学部) 文学部、環境共生学部、総合管理学部 (大学院) 文学研究科、 アドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ディプロマ・ポリシー環境共生学研究科、 アドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ディプロマ・ポリシー アドミニストレーション研究科、 アドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ディプロマ・ポリシーサポートシステム 組織図、教員一覧(文学部・環境共生学部・総合管理学部)、キャンパスライフ、アクセスマップ
中国語	トップページ、学部、大学院、組織図
韓国語	トップページ、学部、大学院、組織図

【資料2】

権限について

	管理者権限	更新権限	入力権限
メニュー構成の編集、カテゴリーの追加、バナーの編集等	○		
ページの編集及び公開（お知らせ欄、その他含む）	○	○	
ページの作成（下書き）	○	○	○

権限と更新体制（今後変更になることがある）

<本体>

	管理者権限	更新権限	入力権限
企画調整室	○	○	○
教務入試課		○	○
学生支援課		○	○
総務課		○	○
学術情報メディアセンター		○	○
地域連携政策センター		○	○
国際教育交流センター		○	○
キャリアセンター		○	○
文学部		○	○
環境共生学部		○	○
総合管理学部		○	○
共通教育センター		○	○
各教員（お知らせ欄のみ）			○

<主要組織・外国語>

いずれも所属組織のサイトに限る。企画調整室はすべての管理者権限をもつ。

	管理者権限	更新権限	入力権限
文学部日本語日本文学科	○	○	○
環境共生学部	○	○	○
教務入試課 （外国語ページに限る）		○	○
国際教育交流センター （外国語ページに限る）		○	○

研究者情報のデータベースの管理・編集者権限

	管理（追加・削除）	編集・更新
企画調整室	○	○
学術情報メディアセンター	○	○
地域連携政策センター	○	○
各教員（自身のページに限る）		○